



酒田市地域公共交通網形成計画

《概要版》



酒田市  
～未来創造都市～

酒田市地域公共交通会議

## 酒田市地域公共交通網形成計画の目的と位置づけ

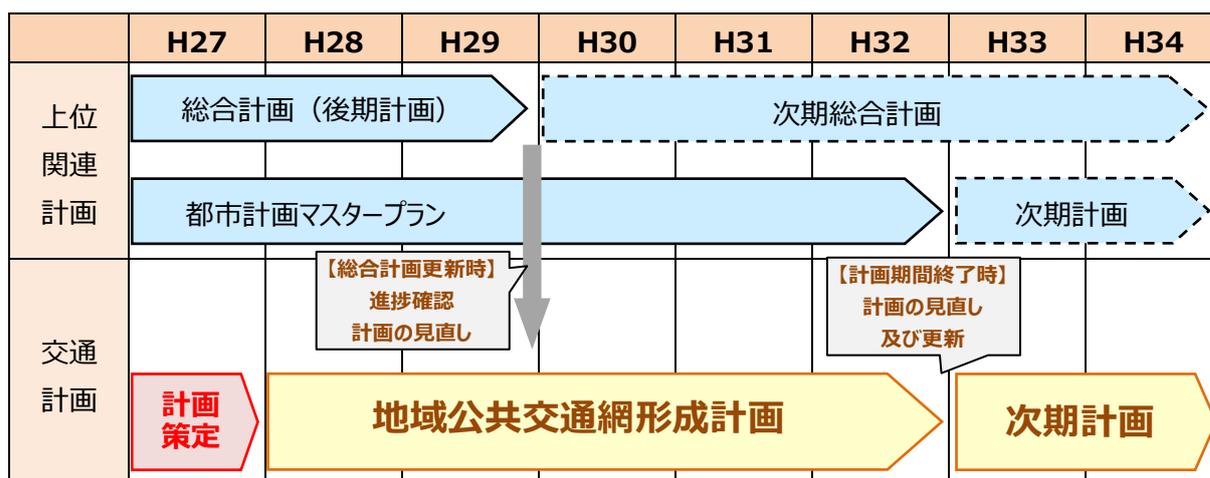
### ■ 計画の目的

住民の需要（ニーズ）及び公共交通に関する基礎的な調査分析、施策の検討等を行い、バス路線を中心とした本市の生活交通網の将来像を示すもので、本市の規模、地理的特性、生活実態に見合う公共交通体系をつくり、自家用車利用から公共交通利用への移手段の緩やかな転換を促進し、持続可能な公共交通網の形成を図ることを目的とした酒田市地域公共交通網形成計画を策定します。

### ■ 計画の位置づけ

上位計画	関連計画	関連事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>酒田市総合計画（後期計画）</li> <li>国土利用計画</li> <li>酒田市都市計画マスタープラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酒田市中心市街地活性化基本計画</li> <li>酒田まち・ひと・しごと創生総合戦略</li> <li>酒田市観光基本計画</li> <li>酒田市中長期観光戦略</li> <li>酒田市地域福祉計画</li> <li>酒田市障がい者福祉計画</li> <li>酒田市環境基本計画</li> <li>新健康さかた 21 計画</li> <li>庄内北部定住自立圏共生ビジョン</li> <li>酒田市過疎地域自立促進計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR 酒田駅周辺整備事業</li> <li>山居倉庫周辺整備事業</li> <li>市庁舎整備事業</li> <li>新産業会館整備事業</li> <li>中町にぎわいプラザ(仮称)整備事業</li> <li>中心市街地循環バス運行事業</li> <li>街なかサイン整備事業</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

### ■ 計画の期間と進め方



# 酒田市が目指す公共交通ネットワークの将来イメージ

本計画では、基本方針と基本目標に基づき、下記、地域公共交通ネットワークの形成を目指します。

## ■ 基本理念 人と地域の交流を支える公共交通～市民とともに、持続可能な公共交通網を形成し、コンパクト+ネットワークを実現～

### 基本方針 1: 将来のまちの姿を見据えた持続可能な公共交通

#### 目標 1-1 コンパクトで交流の広がるまちづくりを支援します

・今後のまちの姿、あり方を見据え、まちづくり・観光と運動した交通体系を構築し、本市の活性化を支える公共交通を形成。

【指標】公共交通利用率

#### 目標 1-2 ライフスタイルに合った持続可能な交通体系を構築します

・市街地路線網の見直し・各地域における交通体系のあり方、効率的な運行体系を確保し、持続可能な交通体系を構築。

【指標】市内バス路線の平均乗車密度

### 基本方針 2: 地域の交流・発展を支える公共交通

#### 目標 2-1 交流の中心となる機能を備えた地域の拠点を整備します

・旧町地域と市街地を効率的かつ機能的に繋ぐため、各地域における「小さな拠点」の整備に併せ、交通結節点としての機能向上や拠点間のネットワーク形成を図る。

【指標】旧町地域の公共交通利用率

#### 目標 2-2 それぞれの交通が連携した交通体系を構築します

・交流都市である酒田の経済発展を支えるため、それら交流拠点と市街地における効果的なネットワーク構築や交通機関の効率的な接続など、交通体系の見直しを行い、本市における交流の土台となる公共交通を目指す。

【指標】公共交通の接続性に対する不満度

### 基本方針 3: 市民協働で取り組み、利用者目線で考える公共交通

#### 目標 3-1 市民とともに考え、支える公共交通を目指します

・市民とともに公共交通を考える「場」を設け、意見交換等を行うことにより、地域で運営する交通体系の確保や利用促進に向けた取り組みを行える体制を目指す。

【指標】公共交通に関する検討会の設置数

#### 目標 3-2 利用者がわかりやすく、使いやすい交通環境を目指します

・公共交通の交通網や乗り方・乗り継ぎに関する案内等の充実や待合環境の整備等を行い、市民及び本市を訪れる観光客・ビジネス客がわかりやすく、使いやすい交通環境を目指す。

【指標】情報提供に関する不満度

#### 目標 3-3 産学官が連携し、新たな需要を取り込みます

・産学官が連携し、新たなサービスの提供や施策の展開により、利用促進を行うことで、移動手段における公共交通への緩やかな転換を促進

【指標】通勤・通学時の公共交通利用率

### ■ Project1: 公共交通再編戦略

施策 1: 市街地のわかりやすい路線への再編

施策 2: 地域間幹線交通のサービス維持・確保

施策 3: 地域内交通の少量輸送化

施策 4: デマンド交通の再編

施策 5: 利用ニーズに対応した交通サービスの導入

### ■ Project2: 拠点強化戦略

施策 1: 市街地における拠点の整備

施策 2: 地域における拠点の整備

施策 3: 待ち合い環境・乗り継ぎ拠点の確保

施策 4: 交通拠点における接続性向上

施策 5: 既存交通資源の活用・見直し

### ■ Project3: 市民協働戦略

施策 1: 市民と公共交通を考える場の創出

施策 2: 地域主体で取り組む交通サービスの検討

施策 3: 企業・大学等と連携したサービス展開

施策 4: モビリティマネジメント推進

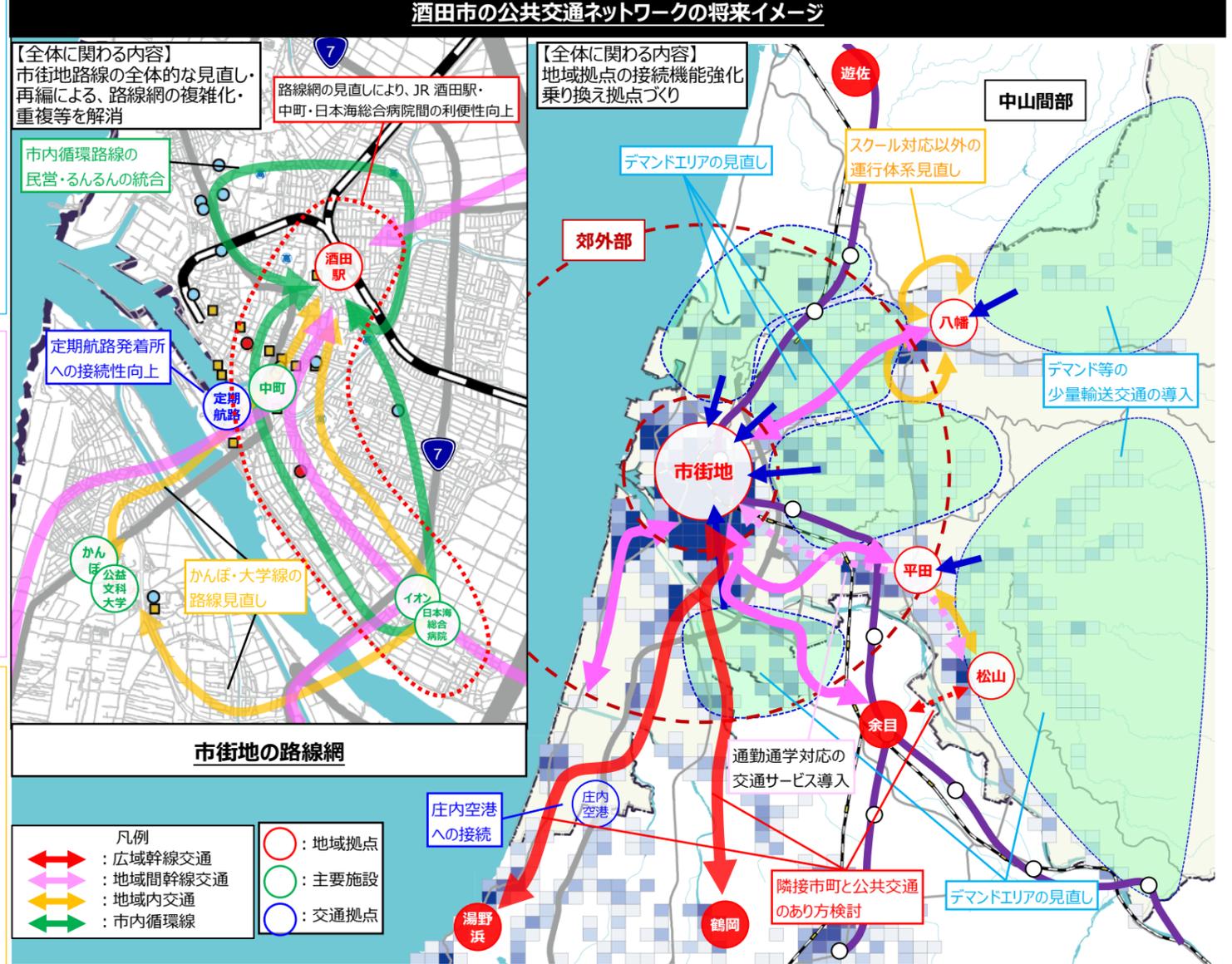
### ■ Project4: わかりやすさ向上戦略

施策 1: 誰にでも親切な案内・表示

施策 2: 運賃体系の再構築

施策 3: 利用しやすい車両への改善

施策 4: 公共交通の情報提供・発信



地区区分	交通の役割
市街地	主要拠点間のネットワークを形成し、効率的な移動手段を確保
郊外部	中心部への移動手段を確保 (地域間幹線交通・デマンド等)
中山間部	地域拠点への移動手段を確保 (地域内交通・デマンド等)

【地域全体に関わる施策】

「地域主体で取り組む交通サービスの導入」  
→地域協働で交通サービスの導入に向けた検討体制確保

「待合環境の改善・整備」  
→主要なバス停の上屋・ベンチ等の整備

「その他ソフト施策の展開」等

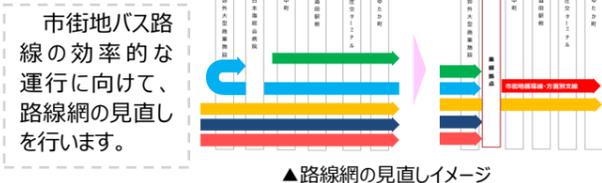
# 目標達成のための事業のイメージ

基本方針と基本目標を達成するためのプロジェクト及び施策は以下の通りです。

## Project1：公共交通再編戦略

### 施策 1-1：市街地路線のわかりやすい路線への再編

- 路線網見直しによる競合区間解消
- 市街地循環線の路線再編及び運行体制見直し

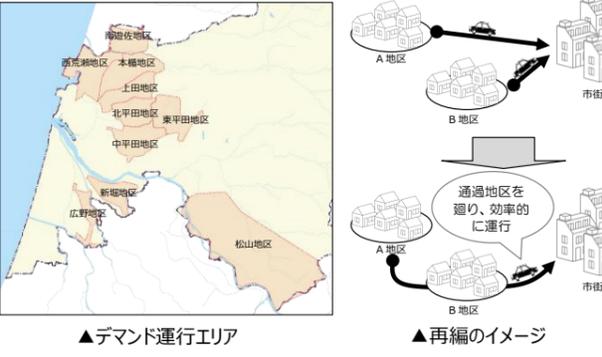


### 施策 1-3：地域内交通の少量輸送化

- 地域内交通のデマンド交通・小型バス転換
- 効率的な運行体制の確保を図るとともに、市民の移動ニーズに対応するため、デマンド交通化や小型バス転換等の小需要に対応した交通サービスへの導入を検討します。

### 施策 1-4：デマンド交通の再編

- デマンドエリアの再編
  - デマンドの運行体制見直し
- 交通サービスの役割分担を図るとともに、効率的に運行される交通体系の確保のため、デマンド交通が運行するエリアの統合等による見直しを行います。

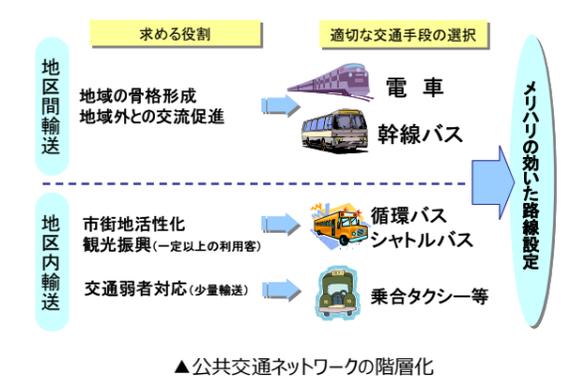


現在運行するデマンド交通において、利用目的の約 9 割が「通院」であり、朝の診療受付開始時間に合わせて、往路 1 便（8:00 便）を利用し病院へ行き、復路 2 便（14:00 便）を利用し帰宅するケースが多くみられます。

そうした利用実態を踏まえ、利用率の低い時間帯の見直しや、デマンド交通の利用率が低い地区への運行本数の見直しをして、効率化を図ります。

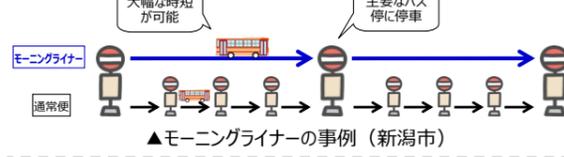
### 施策 1-2：地域間幹線交通のサービス維持・確保

- 地域間幹線交通のサービス維持・確保
- 市街地と中山間地を結ぶ地域間幹線交通は、郊外や中山間地に住む市民にとって通学や通院、買い物等の生活の移動手段として重要な役割を担っています。市民の快適な生活を確保に向けて、地域間幹線交通のサービス維持・確保のために、各交通モードの区分・階層化し、メリハリの効いたサービス提供、役割の明確化を図ります。



### 施策 1-5：利用ニーズに対応した交通サービスの導入

- 路線バスの快速便の導入
  - 交通弱者の移動手段確保
  - 隣接市町と公共交通のあり方検討
- 朝の通勤・通学時間帯の中心市街地への移動ニーズに対応し、朝の時間帯に、限定したバス停のみに停車する快速便の導入を検討します。



免許返納者に対するサービスの提供を検討します。学生に対しても、通学手段を確保するとともに、バス路線沿線の商店街と連携し、学生の交流拡大を図ります。



行政間を結ぶ既存バス路線の更なるサービス向上及び利用促進や移動ニーズに応じた公共交通のあり方について、隣接市町と協議・検討を進めます。

## Project2：拠点強化戦略

### 施策 2-1：市街地における拠点の整備

- 市街地における交通拠点整備
  - 交通拠点間の交通ネットワーク充実
- 乗り入れの充実や交通機関同士の乗り継ぎやすさの向上、快適な待ち合い環境の確保等を図ります。



### 施策 2-3：待ち合い環境・乗り継ぎ拠点の確保

- 交通拠点における待ち合い環境の確保
  - 地域における待ち合い環境の確保
- ストレスフリーな待ち環境を確保します。待ち合い環境は、出来る限り現状の施設を活用するよう検討を進めます。



### 施策 2-5：既存交通資源の活用・見直し

- タクシーの活用
  - 観光バス車両の新たな活用
- タクシーチケットやグループタクシー等の導入を検討します。



酒田市では、ボンネットバス車両を利用して週末観光周遊バスを試験運行していましたが、平成 28 年 3 月末で終了しています。デザイン性の高い車両の新たな活用方法について検討を進め、「乗ってみたい」と思える公共交通を目指します。

### 施策 2-2：地域における拠点の整備

- 地域拠点（小さな拠点）の整備
- 集落が分散する中山間地等の地域において、小さな拠点を形成し、拠点間のネットワークを形成することで、誰もが安心して暮らし続けることのできる生活圏を形成します。



### 施策 2-4：交通拠点における接続性向上

- 運行ダイヤの見直し
  - 庄内空港への接続性向上
- 利用の促進や観光客等の利便性向上に向けて、路線再編に伴い運行ダイヤの見直しを図ります。



庄内空港と本市を結ぶ酒田・庄内空港線（リムジンバス）の周知・PRによる利用促進を図るとともに、さらなる接続性向上に向けて、バス事業者と協議・調整を進めます。



## Project3 : 市民協働戦略

### 施策 3-1 : 市民と公共交通を考える場の創出

○地域における検討会等の立ち上げ

市民と意見交換会やワークショップを通じて、より良い公共交通のあり方についての話し合いをします。



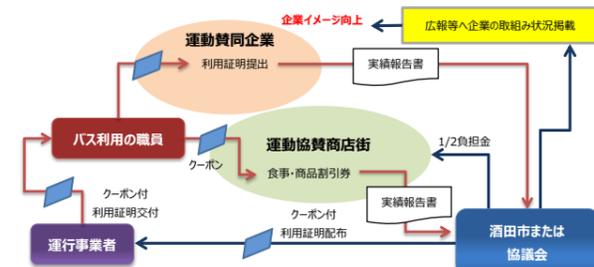
▲ワークショップの開催イメージ

▲公共交通シンポジウムの開催事例 (鶴岡市)

### 施策 3-3 : 企業・大学等と連携したサービス展開

○企業・大学と連携したサービス検討  
○観光・商業と連携したサービス検討

既存の枠組みとのタイアップとして、公共交通の利用や定期利用による特典制度について協議・調整を行います。  
ノーマイカーデー実施や商店街の割引サービスと連携した形で、エコ通勤推進運動を推進します。



▲エコ通勤事業イメージ

インセンティブ付与に関し、タイアップ可能な分野や企業との調整を行います。



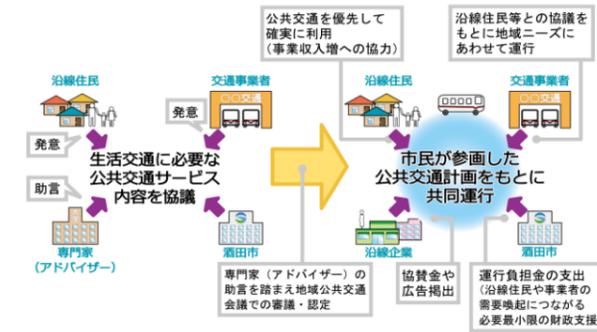
▲インセンティブ付与事例 (北海道帯広市)

▲まちなか周遊バス「ハイカラさん」 (福島県会津若松市)

### 施策 3-2 : 地域主体で取り組む交通サービスの検討

○市民との意見交換会・ワークショップの開催

各地域、各地区において、ワークショップや意見交換会などを開催し、公共交通に対する、利用者や住民の意向・ニーズを把握し、交通体系への反映を検討します。



▲公共交通の検討会イメージ

### 施策 3-4 : モビリティマネジメント推進

○モビリティマネジメント推進

モビリティマネジメントを実施し、市民のモビリティ(移動)に変化を与えられるよう長期的な視点で取り組みます。



▲モビリティマネジメントの実施事例 (岩手県盛岡市)



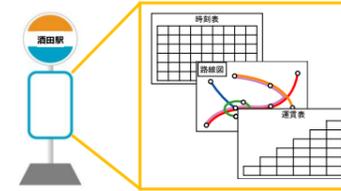
▲バスイベントの実施事例 (山形県バス協会)

## Project4 : わかりやすさ向上戦略

### 施策 4-1 : 誰にでも親切な案内・表示

○乗り継ぎ案内・運賃案内の充実  
○バス路線のナンバー化

バス停に見やすく・わかりやすい運行経路・運賃表示等の情報提供を行います。



▲バス停留所イメージ例

路線バスの行き先・方面をマーク、アルファベット及び番号等を設定することで、利用者が一目でわかるようにし、利用しやすい環境を整えます。



▲路線ナンバリング・方面別記号化のイメージ

### 施策 4-3 : 利用しやすい車両への改善

○低床車両の導入促進

新しいバスを導入する際は、高齢者や車椅子利用者、ベビーカー利用者等が乗降しやすいノンステップバスの導入を推進します。



▲庄内交通のノンステップバス

### 施策 4-2 : 運賃体系の再構築

○運賃体系の見直し

住民の通学・通院の「生活」や観光などの「交流」に欠かすことのできないバス路線としての事業性を持続的に確保しつつ、住民や来訪者が「気軽に」利用できる「分かりやすさ」も両立する、運賃制度の再構築に向けた検討を行います。

- 住民の「生活」や「交流」
- 事業性の確保
- わかりやすさ
- 利用しやすさ

### 運賃制度の再構築



▲持続可能な運賃体系の検討 (イメージ)

### 施策 4-4 : 公共交通の情報提供・発信

○バスマップの作成  
○インターネットの活用

バスの時刻、ルート、運賃等の基本的な情報からバス利用にあたってのお得な情報をわかりやすく示した「バスマップ」を作成します。



▲持ち運びに便利なマップ (宮城県石巻市)

「バスマップ」等のアナログ媒体とデジタル媒体を連動させた幅広い情報提供を行います。



▲公共交通ポータルサイトの運営 (青森県八戸市)